

専門学校読売自動車大学校

学校関係者評価 報告

「令和3年度」

令和4年9月1日

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役職員等の学校関係者を選任し、学校が実施した令和3年度における自己点検評価の結果に関する評価を行い、教育活動と学校運営の改善に向けた助言を行う。

なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策等が適切であるかどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

2. 学校関係者評価委員会の実施

令和3年度の「自己評価報告書」を、学校関係者委員に事前に送付した上で委員会を開催し、ご意見・ご提案を頂いた。また、委員の皆様には基準項目毎に4段階で評価頂き、その結果も含め報告書としてまとめた。尚、第1回委員会においては昨年度の教育活動や学校運営についての評価と今後の課題の提起を行い、次回の第2回委員会では令和3年度の間評価と次年度への取り組み課題等の討議を行う。

<令和4年度 第1回> 開催日時：令和4年 7月14日（木）17：00～18：00

場 所：510教室

<令和4年度 第2回> 開催日時：令和4年 11月18日（金）17：00～18：00

場 所：510教室

3. 学校関係者評価委員会の出席者

① 学校関係者評価委員

- ・齋藤 義明：地域住民 亀戸二丁目町会 会長
- ・今井 一之：企業等 (株)関東マツダ
- ・矢田 泰久：卒業生 読売自動車大学校同窓会 会長
- ・蛭田 浩由：保護者 1級整備学科 2年生

(敬称略・順不同)

② 学校側参加者

- ・松井 敏宏：理事長
- ・渡辺 宜男：校長
- ・吉山 隆晴：法人本部長
- ・岡島 毅：事務局長
- ・北村 眞一：校長補佐兼1級整備学科 学科長
- ・北島 鎮夫：自動車整備学科 学科長
- ・鈴木雄一郎：教務委員長

4. 学校関係者評価委員の意見・提案と評価平均点 (令和3年度 学校関係者評価)

基準1 教育理念 3.8 (前回 3.7←4.0←3.8)

- ・100年に一度といわれる技術変化に対応のため、更に、企業が求める人間性と技術力に対して試行錯誤しながらもやるべき項目を明確にされ、積極的に活動され大変良いことであると思う。
- ・教育理念が素晴らしいと思う。その教育理念を確実に実行する教育を目指して欲しい。

基準2 学校運営 3.5 (前回 4.0←4.0←4.0)

- ・就職率や国家試験の合格率の高い伝統校としての強みを継続しつつ、わかりやすい授業、就職指導をあらゆる機会を通してアピールしようとしている活動は良いことと思える。また、きめ細かな指導での退学者を減らす活動も大変よいことであると思う。
- ・日本は自動車生産が重要産業の国なので、製作やメンテナンスに関わる人材は大切です。頑張って人材確保に努めて、優秀な人材を送り出して欲しい。

基準3 教育活動 3.5 (前回 4.0←3.7←3.5)

- ・教員の方の上級資格取得に対して、個人レベルで引き続き負荷が大きくなるが教育の質向上の為に必要な事項なので、引き続き尽力して欲しい。また、校内の企業研修会につきましても、多くの教職員の方々が参加出来る環境を整えて欲しい。
- ・新しい技術仕様の車が次々と生まれている。それに対応する教員も大変だと思うが、さらにメーカーとも協力関係を築いてほしい。そして新技術に対する専任講師の派遣を依頼することも考えていいのではないかと思う。

基準4 学修成果 3.5 (前回 3.3←3.3←3.5)

- ・国家試験の一級について2年連続高い合格率をあげており、この状態が維持出来ますよう継続して欲しい。また、自動車整備学科においては、学生指導の効果がでていようで、退学率の低下は素晴らしいと思う。
- ・特別授業等でフォローしている姿勢は良いと思う。関連資格試験は車の整備とは全然違う事も含まれているので、全ての資格取らせるには大変だと思う。しかしそれが将来本人の為には重要なことだとしっかり理解させ、成果を上げてほしい。

基準5 学生支援 3.5 (前回 3.3←3.3←3.5)

- ・新型コロナウイルス感染症の終息はまだ先の様ですが、魅力ある課外活動の取り込みにも努力して欲しい。自動車整備士に関する職業理解を得る活動については、低年齢に範囲を広げての実施をお願いしたい。企業側でも出来る範囲で協力致します。
- ・学習以外の活動(例:クラブ活動)についてもCovid-19の影響を感じたが、どうしようもないと考える。
- ・就職するまで面倒を見ている点は良いと思う。就職後の支援のことも課題に挙がっているが、そこまでやる学校は実際のどの位あるのだろうか。

基準6 教育環境 3.8 (前回 4.0←4.0←3.8)

- ・教材関連については、費用対効果を求められる事項だが、優先順位をつけ確実な改善を実施しているものと思われる。
- ・改善項目は多くあると思いますが、毎年環境整備を行っている点は良いと思う。

基準7 学生の受け入れ募集 3.0 (前回 3.7←2.7←3.5)

- ・学生募集活動については正解がなく、弊社の新人スタッフに聴取すると、どの学校であっても一番印象が良かったとの回答がえられる。このことから如何にファーストインパクトが大切か！更に対応する方の向心力によるところが大きいように思える。学生から選ばれる活動を模索しながらの努力を継続して欲しい。そして、我々の立場からも多くの場面で手伝いをさせて欲しい。
- ・留学生の入国制限による厳しさはどうしようもない。2023年の回復を期待する。
- ・職人になりたいと思う人が少なくなっている時代でも、必要な資格です。この資格の魅力を発信して色々な募集の取り組みを続けてほしいです。

基準8 財務 3.5 (前回 3.7←4.0←4.0)

- ・特になし。
- ・健全経営だと思う。

基準9 法令等の遵守 3.8 (前回 3.7←4.0←4.0)

- ・コンプライアンスの問題は感じられない。
- ・特に問題ありません。

基準10 社会貢献・地域貢献 3.3 (前回 4.0←3.7←3.3)

- ・貴校独自の出前授業を小・中・高で行なうことで、整備士の仕事に対して理解を頂き、長いスパンでみることにより社会貢献や地域貢献にならないでしょうか！結果として学校のアピールになるのではないのでしょうか！
- ・社会貢献や地域貢献においても Covid-19 の影響が認められる。やむを得ない。
- ・授業や資格試験が目白押しの中、様々な活動をしているのは評価できると思う。

基準11 国際交流 3.8 (前回 4.0←4.0←4.0)

- ・貴校は留学生対応についての豊富な経験値があるのと、「日本語スピーチコンテスト」等も活用し更なる日本語コミュニケーション能力向上にご尽力下さい。
- ・Covid-19 の影響が認められる。やむを得ない。
- ・対面授業が始まれば自然にコミュニケーションがとれると思う。

その他の意見等

- ・読売式教育メソッドに沿った人間力・基礎力・資格取得力に重点を置き、動向を敏感に察知し、時代に沿った業界に順応でき活躍出来る人物の育成をお願いしたい。
- ・7月時点でも Covid-19 の新しい波があったが、感染力が高く今まで以上の影響があった。以前の活動を行うのは難しいと考える一方で、学生への指導や彼ら自身の経験を考えると短期のスパンでの取組課題の見直し&調整をし、PDCA を回しながら最大限の指導をしていくしかないと考える。
- ・貴校の方針通りで問題になることはありません。

まとめ

委員の方々のご意見・ご提案を参考として、今年度及び来年度に向けた学校運営の検討を行う。

以上